

第九たいむず



No.46 2010.5.6

●GWはお天気も良かったですね。

今週号は、なんとなくラッキーナンバーです

通刊888 担当あきら

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0046 高崎市江木町483 TEL/FAX: 027-323-0233 (団長渡辺) 携帯電話: 080-5474-2673 (事務局長中村)

◆メイコンサートは宣伝材料がたくさんです！チラシを配り、チケットを売りましょう。

メイコンサートの宣伝はされていますか？「日本舞踊有り、メゾソプラノのソロ有り、フラメンコ有り、二台のピアノ演奏有り、演奏解説有り」と合唱だけでなく、盛りだくさんの演奏会ですので、宣伝材料はたくさんあります！言葉巧みに宣伝し、演奏会に来ていただきましょう！

今年のチケットは20枚:1万円で全員に配布されます。追加分は1枚:500円です。

1万円はチケット代の他に、会場費、印刷費、当日の必要経費が含まれています。

※チラシをお近くの公民館やお知り合いのお店に置いてもらいましょう！どんどん活用して下さい！！

◆5月5日(水) 男声、映画「君に届け」ロケ、佐野市文化会館にて収録

「君に届け」はコミックス累計1000万部突破、アニメ化(日本テレビ)もされた「ピュア少女・爽子の成長が心に響く学園青春ストーリー」で、この映画化(主演:多部未華子・三浦春馬)に際し、冒頭シーンで第九が出てきます。第九の演奏は映画オリジナルで、爽子の誕生日の父親の慌てぶりを象徴する出来事として描かれます。(高崎の男声だけはストーリーをこっそり聞いちゃいました。)

午前はマイク8本による録音、午後は録音を元に撮影、観客役としても参加、打上げは佐野駅前での佐野ラーメン。納得いくまで繰り返す撮影、楽しい仲間と貴重で興味深い体験をしてきました。

◆5月20日(木) 総会+ミニコンサート 18時45分～

皆様に手渡し又は郵送でご案内が届いていると思いますので、確認願います。

NPO法人としての総会ですので、人数の確認が必要になります。総会に参加できない方、参加できるか微妙、という方は、お手元に郵送された委任状をあらかじめ提出してください。提出方法は郵送でもFAXでも、練習時に役員に直接手渡しでも可です。総会の後は恒例のミニコンサートです。

◆メイコンサート当日の駐車場について

団員の駐車場は音楽センター敷地内で建物の裏手に詰め込みします。お客様で車椅子の方、足の不自由な方等、平面の駐車場を希望される方はあらかじめ役員に申し出ください。また、5月23日は「人情市」が開かれています。混雑するかもしれませんので、お客さまには割引駐車場の場所と一緒に伝えあげてください。

◆メイコンの後は！「打ち上げパーティー」で 参加大募集中

日 時:5月23日(日)16:30から 参加費:3,500円 飲み放題

場 所:Kitchen & Bar AIAI(アイアイ)高崎駅東口側。 担当運営委員 富田(A),大里(B)

生ビール、カクテルサワー、ワイン、本格焼酎、日本酒、スピリッツ、ソフトドリンクなどなどのお飲み物と、マスターご自慢のイタリアン料理で飲める方も飲めない方も楽しい時間を過ごしましょう。ギター伴奏の歌声と、運が良ければゲストの日頃聞けないような歌を聴けるかも？

駐車場は少なめです。乗り合わせか、交通機関のご利用を！！！！

◆メイコンサートの衣装について・・・DVDなどをみてイメージをふくらませてね！

女声、男声ともに、毎回の練習時に衣装を持ち寄って確認しましょう。

第一幕(たばこ工場前広場): 男声は正装(盛装!) 女声は女工風

第二幕(酒場の場面): 男声、女声ともに派手目な服装

第三幕(盗賊が集まる山の中の場面): 男声、女声ともに盗賊風(暗色)な服装

第四幕(闘牛場前の広場): 男声、女声ともに華やかな衣装

先週の「たいむず」の写真で確認してね

◆イベント情報

☆5月15日(土)中西圭祐 チェロ・リサイタル ←ユリヤ先生のご主人、グリチンさんのお弟子さんです。

高崎市総合福祉センター たまごホール 午後2時開演(午後1時半開場) 入場無料。

ピアノ 清水彩夏←ユリヤ先生のお弟子さんです。出演者がまだ中高生なので、無料です♪

☆5月16日(日) オペラ『リゴレット』ヴェルディ作曲(字幕付き原語上演) 元先生のソプラノ佐藤貴子さん

前橋煥乎堂(5階)煥乎堂ホール 13:30開演 チケット希望の方は、テノールの太田さんまで

全自由席 4000円 リゴレット:今井俊輔、ジルダ:佐藤貴子

200弱の小さなホールですので舞台と客席が近く、出演者の迫力ある歌を間近で聴くことができます!

難しく思われがちなオペラですが、気軽に足を運んで頂ければと思います。

☆6月6日(日)アテフ・ハリム&下山静香 ←ソプラノの茂木晴子さんの姪御さんです。

笠懸野文化ホール「パル」13:30開場 14:00開演 チケットご希望の方は、ソプラノの茂木さんまで。

チケット 一般 前売り 3,000円(当日 3,500円) 学生 前売り 1,500円(当日2,000円)

文化ホール

高崎市文化協会発行の
「地の絆」に赤羽先生の
お話が掲載されました。

群馬音楽センターの老朽化
による新ホールの必要性、
高崎市は、新ホールが必要
と結論付けました。

数か所の候補地を抱え、
これからの音楽のまちづくり
を考える上で、どこにどんな
ホールが必要なのか。
市民にとって、どんなホール
が必要なのか。

高崎で音楽活動している私
たちが声を挙げなければい
けません。

税金の負担をしている、負担
していく若い世代も声を挙げ
なければいけません。

これまでの音楽活動を通じ
て、何が足りなかったのか、
これからの世代へ何を残す
べきか、私たちは声を挙げて
いかなければいけないと
思います。

私は高崎市あら町に生まれました。音楽教育を受けていた大学生時代を除き高崎市に住んでいます。生涯音楽に携わり、現在も高崎第九合唱団、合唱団JOYをはじめ、六つの合唱団の指導をしています。合唱団の発表の場として県内外沢山のホールに出演してきました。二〇〇九年一月には第九合唱団ヨーロッパ公演でスロヴェニアの首都リュブリアナ市コングレスホールにも出演しました。また好きなクラシック音楽鑑賞のために日本各地の音楽ホール、ウィーン、ミラノ等、世界各国の有名なホールにも足を運びました。

ヨーロッパの音楽ホールは響きが素晴らしく美しく感動的です。それは音楽を聴くだけの目的で作られたホールだからです。現在の日本では文化ホールという名の多目的ホールが林立しています。これは音楽の広い裾野充実には充



近年、ハードからソフトへ、コンクリートから人へと、世の中の流れが変わろうとしています。平成の大会合が完了した高崎市、その中に生活する私たちにとっての文化ホールに求めるものを考えてみました。

多目的ホールから目的別ホールへ

高崎市民音楽連盟 赤羽 洋子

分役に立っているとは思いますが。一九六一年に全国に先駆けて建設された「群馬音楽センター」は一九六五席、「文化会館」は七〇〇席、「コアホール」は三三〇席、各校区の公民館にも大小様々なホールが併設されています。これらのホールは多目的に使用されています。音楽会にも、講演会にも、シンポジウム、演劇、映画、卒業式等全ての集会に利用されています。全てに利用できるという便利さは全てに不十分だとも考えられます。「帯に短し、褌に長し」と言う文化ホールを卒業したいものです。

合唱をしている私にとって、音楽堂、いわゆる音楽専門のホールが有ったらと考えています。オペラ、オーケストラ、バレエといった広いステージを必要とする大ホール、合唱団やアンサンブルの為の中ホール(二〇〇〇席)、ソロの為の小ホール(五〇〇席)。今の高崎では一九六五席の音楽センターと七〇〇席の文化会館の中間のホールがありません。

直接市民の力で「音楽センター」を建設した高崎市には二一世紀の今、それぞれ目的を持ったホールの建設が待たれているのではないのでしょうか?

